

1. 研究活動

2009年度新生による「学生相談室アンケート」の結果に関する教育臨床心理学的考察	2010. 3. 26	名古屋芸術大学研究紀要 第31巻 355-364	2009年度の本学新生の、入学前の生活、志望動機、大学生活への期待、現在の心境等についての実態調査（「相談室アンケート」）を行い、その結果を「教育臨床心理学」ないし「教育現場における心理臨床」の視点から検討した。その結果、本学の新生は、精神的に健康で、落ち着いた豊かな学習環境を得るためのリソースを十分もっていることを伺わせた。しかしながら、一方で、多くのものが大学での履修方法や勉学の仕方が分からずに不安を抱いていた。また、不本意入学に近い形で入学したり、悩みを相談することの出来る友人等を全く持っていない者も散見された。そしてこれらの傾向は、ここ4年の間に変わることはほとんどなかった。 (共同研究者：橋本容子、北岡智子、菅嶋康浩、佐藤勝利、後藤卓男、栗津幹子)
--	-------------	-----------------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動